

区政会議における2020年度（令和2年度）運営方針に関する意見への対応方針

対応方針の分類
①2019年度（令和元年度）に対応
②2020年度運営方針に反映もしくは2020年度で対応
③2020年度での対応はできないが、今後引き続き検討を行う
④対応困難または対応不可
⑤その他

資料 1

No.	意見聴取の場			意見内容	対応方針	担当課	分類	予算措置 ※①②の場合に記載
	開催日	会議名	委員名					
1	令和元年 5月21日 (火)	令和元年度 第1回 安全・安心なま ち部会	増田委員 福岡委員	【1-1-1 自助の取組】 東京防災というアプリケーションがあり、その中で、物の備えチェックリスト、室内の備えチェックリスト、コミュニケーションの備えチェックリストがあり、さらに、水や缶詰をいつ買ったというのが記録できるようになっています。アプリが利用できるのならば、交換日や、賞味期限が通知されるようなアプリがあったらいいのではないのでしょうか。アナログで行う場合でも、家計簿のような紙ベースのものを作ればいいのではと思います。	7日分以上の備蓄を進めるためには、備蓄物資の管理を容易に行えたり、楽しく備蓄できるような工夫が必要だと考えます。 ご意見いただきましたICTの活用については、大阪市の関係部局へ伝達するとともに、他都市や市民活動団体等の防災に関する先進的な取組を参考にし検討を行います。	市民協働課 (防犯・防 災)	⑤	
2	令和元年 5月21日 (火)	令和元年度 第1回 安全・安心なま ち部会	増田委員	【1-1-1 自助の取組】 新聞に、ある会社では、社員40人分の7日間の備蓄をして、それを回して、年に4回、全員でお昼に試食をするという取り組みをしていると載っていました。7日間の食料の備蓄について、具体的にイメージができるように「よどマガ！」等で特集を組んでみれば、イメージができるのではと思いました。 (例) 4人家族の淀川花子さんの場合 ・水〇ℓ×7日 ・缶詰〇個×7日 ・レトルト食品〇個×7日 等	7日分以上の備蓄を進めるためには、備蓄が特別なことでなく、普段の生活に繋がっていることを実感できるような啓発が必要だと考えます。「よどマガ！」への防災記事の連載をはじめとして、高齢者や乳幼児のいる世帯向けのリーフレット作成等、さまざまな広報媒体を活用し、7日分の備蓄の具体的なイメージやその活用方法の提案について取り組んでまいります。	市民協働課 (防犯・防 災)	⑤	
3	令和元年 5月21日 (火)	令和元年度 第1回 安全・安心なま ち部会	光在委員	【1-2-1 地域防犯の推進】 詐欺への注意喚起を玄関に貼っている場合は、周りのみんなは気をつけますが、御本人が電話で引っかけたしまえば終わりだと思います。詐欺への注意喚起のステッカーを、例えば老人クラブの会合やお年寄りが集まる場所でお渡しして、電話のところに貼るようにすると、ご自身で気をつけるのではないのでしょうか	特殊詐欺被害防止のためには、ご家族やご近所同士の注意に加え、騙されそうになっているご本人の気付き引き出す工夫が必要だと考えます。 淀川警察署や社会福祉協議会、老人クラブ等の関係機関および地域と連携し、より効果的な啓発手法について検討を図ります。	市民協働課 (防犯・防 災)	⑤	
4	令和元年 5月21日 (火)	令和元年度 第1回 安全・安心なま ち部会	増田委員	【1-2-1 地域防犯の推進】 特殊詐欺については、具体的にこういう人がだまされていますというような像ができ上がったらいいのではと思います。御近所とつながっている人は被害が少ないというようなデータが出てくれたら、すごくうれしいことだと思います。被害者の方をタイプ別に絞り込むということが、データでできるのではないのでしょうか。例えば、それを広報紙に載せたり、掲示板に掲示する等というようなことができたらいいと思います。	特殊詐欺被害防止のためには、被害者の特性に応じたきめ細かい取組が必要だと考えます。 淀川警察署とより一層の連携を図り、被害者の特性を分析し、傾向を踏まえた効果的な啓発活動を進めるよう取り組んでまいります。	市民協働課 (防犯・防 災)	①	(予算措置不要)
5	令和元年 5月21日 (火)	令和元年度 第1回 安全・安心なま ち部会	増田委員	【1-3-1 地域における見守り支援体制の構築】 地域の行事があるときにボランティアスタッフの募集をしますが、一度地域のボランティアをすると、「ずっと取り込まれてしまうのではないのか」というような恐怖感で来てもらえないんです。「やすらぎ通信」等で、ボランティアの人の声としてそのようなことはないことも書かれるといいのではないかと思います。	「いつでも・だれでも・どこでも」気軽にボランティア活動に参加できるよう、各施設団体のボランティア募集、地域イベント、講座案内等を掲載した淀川区ボランティア・市民活動センター発行の「やすらぎ通信」等にボランティア活動をされた方の体験談や感想等の掲載を依頼するなど、関係団体と連携して啓発に努めてまいります。	保健福祉課 (保健福 祉)	①	(予算措置不要)

No.	意見聴取の場			意見内容	対応方針	担当課	分類	予算措置 ※①②の場合に記載
	開催日	会議名	委員名					
6	令和元年 5月30日 (木)	令和元年 第1回 コミュニティ向 上部会	久本委員	【4-1-1 広聴機能の充実】 若年層のアンケートがとれなかったのであれば、今後やればよいと思います。	令和元年度の区民アンケートは2回実施予定ですが、この1回目については若年層（18～29歳）向けに実施したいと考えています。若年層に特化したニーズ調査により、課題となっている若年層へのアプローチ等について検証を行い、来年度の運営方針策定に生かしたいと考えています。	政策企画課 (広聴)	①	令和元年度当初予算（区民アンケート2回分）562千円
7	令和元年 5月30日 (木)	令和元年 第1回 コミュニティ向 上部会	藤野委員	【3-1-1 市民活動の理解促進】 地域で行事をやっても同じ人が出てきます。防災訓練が一番よくわかるが、毎年高齢化しています。区役所に転入届で来られた時に、淀川区では地域にこういう組織があるということをチラシ等で周知してもらえればと思います。	転入者向けにお渡ししています「くらしの便利帳」において地域活動協議会の紹介を行うとともに、住民情報フロアに18地域の地域情報コーナーを設け、各地域で発行している広報紙や行事チラシを手続きの待ち時間等にご覧いただけるような取り組みを行っているところです。今後も、まちづくりセンターと連携し、新たに区民となられた方に効果的に地域情報をお伝えできるような方法について検討してまいります。	市民協働課 (まちづくり)	①	(予算措置不要)
8	令和元年 5月30日 (木)	令和元年 第1回 コミュニティ向 上部会	板谷委員	【3-1-1 市民活動の理解促進】 単身者の側は、町会にかかわる必然性を持っていないと思います。行政側はこういう問題があるので、単身者世帯に対して、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」という関わりをしないといけないという点について整理した方がよいと思います。	特に若年層の単身者を対象として地域活動への参加や町会に関する意識調査を実施する等、単身者のニーズを把握し、今後の施策に反映させてまいります。	市民協働課 (まちづくり)	①	(予算措置不要)
9	令和元年 5月30日 (木)	令和元年 第1回 コミュニティ向 上部会	板谷委員	【3-1-1 市民活動の理解促進】 地域で、約300戸のマンションができて2年がたちますが、自治会をつくっていただくよう要望しており、いろいろアプローチしてその一つとしてまちづくりセンターの協力もお願いしていました。マンション側からの反応があれば、まちづくりセンターもいろいろなサポートができますが、マンション側からの反応がなく全く先に進まない状態であり、そこは空白地帯になっています。これはまちづくりセンターの話ではありませんが、大きなマンションができたときに自治会を作り地域に入るといことを条例で定める等行政でも何かできないでしょうか。	平成27年度実施の全学的な「コミュニティ活性化に向けたマンション対策ワーキンググループ」において、他都市において制定されているまちづくりに関する条例について検討を行ってまいりましたが、任意団体である自治会加入についてはあくまでも努力義務とならざるを得ないのが現状となっています。条例という手法ではありませんが、いざという時に備えた地域のつながりづくりの重要性について啓発活動を進めるなどの取り組みをまちづくりセンター等と連携し、継続して取り組んでまいります。	市民協働課 (まちづくり)	①	(予算措置不要)
10	令和元年度 5月30日	令和元年度 第1回 コミュニティ向 上部会 (事後意見)	川合委員	【3-1-1 市民活動の理解促進】 役所側の地活協の役割と地域住民との温度差が大きすぎる。認識不足もあり、一から勉強会を設けて指導して頂きたいです。	勉強会については、全地域一括ではなく、地域実情に応じたきめ細やかな内容での実施が必要だと考えております。ご要望に応じて地域への出前講座等を実施しておりますので、市民協働課または淀川区まちづくりセンターへご相談ください。	市民協働課 (まちづくり)	①	(予算措置不要)
11	令和元年 6月4日 (火)	令和元年 第1回 教育・子育て部 会	福島委員 石田委員	【2-1-1 課外学習の推進（ヨドジユク）】 自分がその日に学んだことを理解することが家庭学習だと思うので、塾の先生には理解している内容と理解していない内容を説明してあげてほしいです。そして理解していない部分に即した宿題を出してあげてほしいです。 子どもたちがどこまで理解しているのかを把握できるカルテのようなものがあれば細かな指導ができるのではないのでしょうか。	ヨドジユクでは、入塾時及び年度末にテストを実施し、得意不得意を把握して指導に活かしています。今回、区政会議部会でも意見があったので、実施事業者へ情報共有し日々の指導等細かく対応できるよう要請いたしました。また、「ヨドジユク」以外でも教育委員会で学習習慣のための事業を検討中とのことですので、その動きも見ながら今後の対応方針を検討していきます。	市民協働課 (教育支援)	③	
12	令和元年 6月4日 (火)	令和元年 第1回 教育・子育て部 会	中道委員	【2-1-4 生活困窮家庭の子どもへの学習支援事業（子ども未来輝き事業）】 何か目的意識を持てるような事業内容にしてみるといいと思います。自分自身で気づきを得られるような事業を行えばいいと思います。	キャリア教育として、大学生や社会人の体験談などを聞き、多様な価値観に気づき、自己肯定感の向上につなげていけるよう取り組んでいきます。	保健福祉課 (保健福祉)	①	(予算措置不要)

No.	意見聴取の場			意見内容	対応方針	担当課	分類	予算措置 ※①②の場合に記載
	開催日	会議名	委員名					
13	令和元年 6月4日 (火)	令和元年 第1回 教育・子育て部 会	福島委員	【2-1-4 生活困窮家庭の子どもへの学習支援事業（子ども未来輝き事業）】 身近な目標があれば、チャレンジするきっかけになると思います。自分がいま何をすべきか、どうなりたいかを理解できるようになるためにも、子どもたちが刺激を受け、自分の可能性の幅を広げられるような体験があればいいと思います。	体験学習として、自然と触れ合うことで子どもたちが刺激を受けられる環境学習に取り組み、夏休みの自由研究のような成果物ができるところまでフォローし、やればできる達成感や自分の可能性を感じられるよう取り組んでいきます。	保健福祉課 (保健福祉)	①	(予算措置不要)
14	令和元年 6月4日 (火)	令和元年 第1回 教育・子育て部 会	泉水委員	【2-1-4 生活困窮家庭の子どもへの学習支援事業（子ども未来輝き事業）】 体験学習では参加して楽しかったと感じる子どもが多いと思いますが、勉強となれば苦手な子どももいます。「参加してよかった」と感じた割合で事業を評価してみるのはいかがでしょうか。	いただいたご意見を参考にして、まずは自分の可能性や学習することの意味を子どもたちに気付かせることができているかを、より適正に検証できる効果検証方法を検討していきます。	保健福祉課 (保健福祉)	①	(予算措置不要)
15	令和元年 6月4日 (火)	令和元年 第1回 教育・子育て部 会	福島委員	【2-2-3 子育ての負担感軽減】 電話でもいいので施設や区役所と話ができたり、ほかの親と悩みを共有できたりすれば気は楽になると思います。	子育て支援室では、電話での相談を月～金9:00～17:30で受け付けています。毎月第4火曜日には、情報コーナーにて手遊び・体操など親子で楽しく遊ぶハッピールームを開催しており、参加の保護者同士で話をする機会も多くあります。また、つどいの広場等の子育て支援施設では、随時子育て相談も受け付けていますし、安心して子どもを遊ばせながら、保護者同士で交流できます。	保健福祉課 (子育て支援)	①	令和元年度当初予算（子育て支援室）8,732千円
16	令和元年 6月4日 (火)	令和元年 第1回 教育・子育て部 会	福島委員	【2-2-3 子育ての負担感軽減】 子育て相談や施設利用はお金を払ってでも行きたい人はいると思うので、行こうと思ってもいけないような人に対して、3歳児健診や1歳半健診の際に区役所が声をかけてあげればいいと思います。	3か月・1歳半・3歳児健診時の配布物の中に、子育て支援室とハッピールームのチラシ、ゆめキッズの最新号（各子育て支援施設の行事情報多数あり）を入れています。なお、1歳半と3歳児健診の際は、保育士が入って支援室のアピールをしながら親子の様子を見守っており、しんどそうな保護者の方には声をかけていっています。また、3か月健診時は、より身近な地域の子育て拠点事業の職員（支援センター・つどいの広場等）が広報しています。	保健福祉課 (子育て支援)	①	令和元年度当初予算（子育て支援室）8,732千円
17	令和元年 6月4日 (火)	令和元年 第1回 教育・子育て部 会	石田委員	【2-2-3 子育ての負担感軽減】 子どもが生まれたときに限らず、半年、1歳児健診の際などにチラシの配布や紹介ができれば、行きやすくなると思います。回覧板などを回してみてもいいのではないのでしょうか。	掲示板・回覧板の数を調べましたところ、掲示板217か所・回覧板5200枚ありました。これに対し、本年度のゆめキッズ・子育て支援マップは、各3,000枚分の予定数のため対応が難しいと思われます。そこで、子育て世帯の情報収集につきましては、手元のスマホ等からのほうがより身近な方法ではと考え、全戸配布の「よどマガ！」に子育て関連情報のQRコードを掲載する予定です。	保健福祉課 (子育て支援)	①	令和元年度当初予算（子育て支援室）8,732千円
18	令和元年度 6月4日	令和元年度 第1回 教育・子育て部 会 (事後意見)	石田委員	【2-2-3 子育ての負担感軽減】 連日、子どもの虐待がメディア等で話題になっていますが、児相の他に淀川区としての対応はあるのでしょうか？ また、対応がない場合、これからの対応として、どのようにしたらよいのかという展望はあるのでしょうか？	淀川区子育て支援室では、毎年11月の児童虐待防止推進月間に広報誌や啓発物品の配布により、区民の方に虐待かなと思ったらためらわずにご連絡いただくようによびかけています。 また、こども相談センターとともに児童虐待の相談・通告を受け付け、比較的軽微なケースの支援を行っています。区内の要保護児童について、関係機関（保育所、幼稚園、小中高等学校、こども相談センター等）間で情報共有し、適切な連携の下で対応していくための協議会（淀川区要保護児童対策地域協議会）の事務局をしています。また、身近な場所で子育て負担感を軽減し、児童虐待を防止するため、子育て相談や子育て支援を行っています。 さらに、重大な児童虐待ゼロに向けて、区の実情に応じて、保護者が子育て相談をしやすくなり、また、児童虐待を防止、早期発見できるような取り組みを検討しています。	保健福祉課 (子育て支援)	①	令和元年度当初予算（子育て支援室）8,732千円